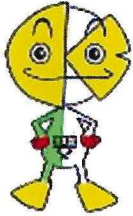


令和2・3・4年度 研究開発指定校 (東京都教育委員会インクルーシブ教育推進校)



〈研究主題〉

「交流及び共同学習」の推進

～すべての児童が分かる発問力の向上を目指して～



校長 北澤 弘幸

本校は、通常の学級と特別支援学級(すずかけ学級)が併設されています。そのため、以前から学校行事やたてわり班活動等において、積極的に交流活動を行ってきましたが、共同学習は、あまり行ってきませんでした。児童が、障害の有無に関わらず共に支え合い、共に成長する素地を培ってきたことを基に、東京都・豊島区の「学校におけるインクルージョンに関する実践的研究事業」のモデル校の指定を受けたことを機に、国語・社会・算数・理科での共同学習の研究及び実践に取り組んできました。さらに、共同学習のみならず、日常の授業においても教科の目標を達成できるよう、児童の誰もが「わかる」「できる」授業の構築を目指してきました。その一端をご報告いたします。

結びに、ご指導をいただきました十文字学園女子大学 教授 中西 郁 先生、豊島区教育委員会教育部指導課の先生方に御礼を申し上げます。

豊島区立要小学校

研究の全体構想

要小学校の取り組み

すずかけ学級担任が通常学級で、「障害理解教育～すずかけ学級の紹介～」としてすずかけ学級のことを説明し理解を図っている。教科学習を通して、交流及び共同学習を進めている。

学校教育目標

- 健康でたくましい子
- 思いやりの心をもち協力する子
- ◎よく考え進んで学ぶ子

社会的側面

豊島区は、「交流及び共同学習」をより一層充実・推進することは、障害のある子供たちにとっても、障害のない子供たちにとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さ学ぶ機会となるなど、大きな意義を有しています。豊島区では、交流によって豊かな人間性を育み、障害の有無にかかわらず、共同学習により、教科のねらいの達成を目指すことで、「学校におけるインクルーシブ教育システム」の基礎を整えることを目的としている

〈要小の重点目標から〉

- ・各教科において言語活動を通して、学習内容を正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成を図る。
- ・児童の特性を考え、体験的活動を多く取り入れ、自分でできる力を養い、児童一人一人がめあてをもって課題に取り組む児童の育成を図る。
- ・互いに学び合い、共に学習する喜びと達成感を味わわせ、自信をもたせる。

〈目指す児童像〉

すずかけ

- ・普段とは違う集団の中でも意欲的に学習に取り組もうとする子

低学年

- ・話し合いやグループ活動を通して、互いの考えを知り、認め合いながら学び合う子

中学年

- ・課題解決に向けた学習方法を選び、学習に向かい、互いを認め合いながら学び合う子

高学年

- ・課題解決のための方法を選びながら学習を深め、互いを認め合いながら学び合う子

〈研究主題〉

「交流及び共同学習」の推進

～ すべての児童が分かる発問力の向上を目指して ～

〈研究仮説〉

- ・交流・共同学習を続け、触れ合うことを通して、互いの人格と個性を認め尊重し、支え合う気持ちを育てられるだろう。
- ・分かりやすい発問を行うことで、一人一人の理解や見通し、学習習得の向上につながり、自信をもって学習に取り組むであろう。

〈研究の方法〉

通常学級、すずかけ学級の児童理解を図る

〈互いに認め合える教室環境づくり〉

- ・教室環境の整備
- ・交流及び、共同学習の推進
- ・心理面、健康面の配慮
- ・情報、コミュニケーションの配慮

〈互いに認め合える学習環境づくり〉

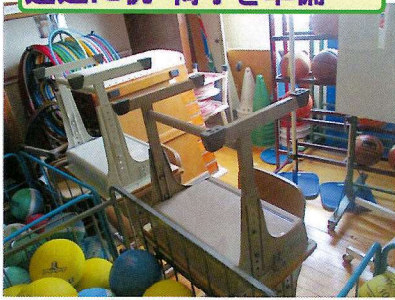
- ・個に応じた指導や学びの場の設定等による特別な指導
- ・情報及び教材の配慮
- ・学習機会や体験の確保

座席配置、整理整頓
掲示物

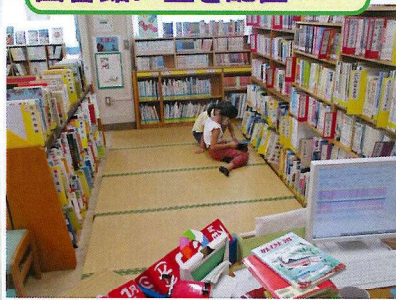
ペア交流、グループ交流
ワークシートの工夫
発問の精選、ICT 利活用

○ 教室環境づくり = 交流・共同

共に活動する通常学級の
近辺に机・椅子を準備



交流しやすくするために
図書館に畳を配置



交流する学年の近くに、机や椅子を準備して、直ぐに対応できるようにしてある。

図書館に新しく畳スペースを設置しました。リラックスできる場所で交流がしやすくなった。

指導案では、通常級の項目と、特別支援学級の項目を近くに配置することにより、お互いのねらいや目標、支援の仕方がよりわかりやすくなっている。

○ 学習環境づくり = 学習指導案

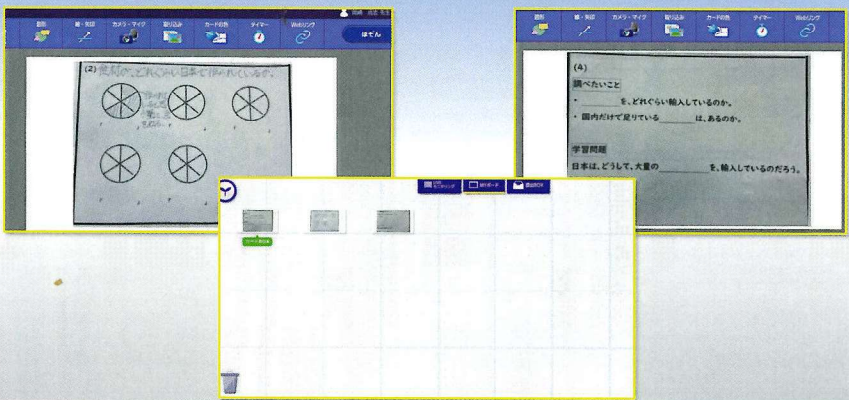
1 単元名	てこのしくみとばたつき																				
2 単元目標	<p>① 身の回りに、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。</p> <p>② この規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記述している。</p> <p>③ 身の回りに、てこの規則性を利用した道具があることが分かる。</p> <p>④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>⑤ この規則性について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>⑥ てこを使った実験について、経験や学習したことを生かして予想したり、実験方法を考えたりしている。</p> <p>学びに向かう力、人間性等</p> <p>⑦ この規則性について、身の回り・現象に連関して調べ、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p> <p>⑧ この規則性について、予想したり実験結果を見たりしながら、教師や友達と問題解決しようとしている。</p>																				
3 単元の評価規準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価規準</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 力を加える位置や力の大きさを変えたと、てこを傾ける動きが変わり、それがつり合いときにはそれらの間に規則性があることを理解している。</td> <td>① 支点、支点、作用点の位置を捉える。</td> <td>① この規則性について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。</td> <td>① 主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td>② てこの規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</td> <td>② 身の回りに、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。</td> <td>② 予想と結果や、実験の過程から考えたことを表現している。</td> <td>② 友達と協力して観察や実験に取り組んでいる。</td> </tr> <tr> <td>③ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</td> <td>③ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</td> <td>③ 予想と結果や、実験の過程から考えたことを表現している。</td> <td>③ この規則性に関心を持ち、学んだことを日常生活に生かそうとしている。</td> </tr> <tr> <td>④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</td> <td>④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</td> <td>④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</td> <td>④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。</td> </tr> </tbody> </table>	評価規準	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	① 力を加える位置や力の大きさを変えたと、てこを傾ける動きが変わり、それがつり合いときにはそれらの間に規則性があることを理解している。	① 支点、支点、作用点の位置を捉える。	① この規則性について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。	① 主体的に学習に取り組む態度	② てこの規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	② 身の回りに、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。	② 予想と結果や、実験の過程から考えたことを表現している。	② 友達と協力して観察や実験に取り組んでいる。	③ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	③ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	③ 予想と結果や、実験の過程から考えたことを表現している。	③ この規則性に関心を持ち、学んだことを日常生活に生かそうとしている。	④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。
評価規準	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度																		
① 力を加える位置や力の大きさを変えたと、てこを傾ける動きが変わり、それがつり合いときにはそれらの間に規則性があることを理解している。	① 支点、支点、作用点の位置を捉える。	① この規則性について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。	① 主体的に学習に取り組む態度																		
② てこの規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	② 身の回りに、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。	② 予想と結果や、実験の過程から考えたことを表現している。	② 友達と協力して観察や実験に取り組んでいる。																		
③ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	③ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	③ 予想と結果や、実験の過程から考えたことを表現している。	③ この規則性に関心を持ち、学んだことを日常生活に生かそうとしている。																		
④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。	④ この規則性について、観察、実験で分かったことを教師の支援を受けて記録している。																		

それぞれの学級の児童の実態、学習の習得状況に応じて「単元目標」を明確にする



分かる・できる喜びのある「交流及び共同学習」の実現

○ 学習環境づくり = ワークシート



ワークシートは、児童の理解力に合わせて、個別に作成し、授業の理解が深まるよう、合理的配慮をしている。

授業の交流だけではなく、運動発表会や、学習発表会などの各行事や、社会科見学、宿泊学習などの校外学習、クラブ、委員会活動、月に2回行われている、たてわり班活動などで、積極的に交流を図っている。

教科以外の交流及び共同学習

- ・ たてわり班活動、クラブ、委員会活動
- ・ 社会科見学、宿泊学習などの校外学習
- ・ 運動発表会、学習発表会などの各行事

